京都大学大学院教育学研究科 教育実践コラボレーション・センターE.FORUM
「『生きる』教育」プロジェクト

単元「リアルデート DV」 の概要
教材・教具 準備の手引き

はじめに

単元「リアルデート DV」では、親密なパートナーとの関係づくりを深く理解する活動や、友だちとの話し合いの時間が随所に設けられています。この活動を促進するのが、視覚的に理解を助ける教材・教具の数々です。ここでは、本単元に使用する教材・教具をどう準備すればよいのかご説明します。

※教材データのダウンロードは、下記 URL・右記 QR コードのサイトをご利用ください。
https://e-forum.educ.kyoto-u.ac.jp/ikiru/

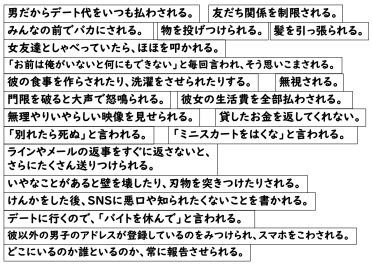
各教材・教具の準備

〇授業全体で使う教具

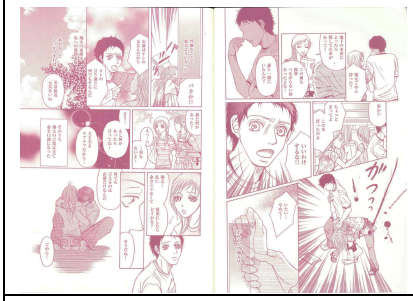
ファイル名	準備方法
0-1. 授業用スライド	単元指導案と照らしつつスライドを確認し、授業の準備をしてください。指導案・スライドについては、先生方の目標や子どもたちの実態に合わせて変更していただいても差し支えありません。 【教師用】
0-2. 教具集	本単元で使用する教具を集めたファイルです。各ページに書いてある通りの大きさで印刷し、下記の手順で教具を作成してください。印刷する際には、ページ指定印刷が最適です。

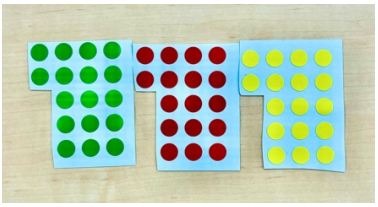
〇展開 2 で使う教具

ファイル名	準備方法
2-1. 4コマ漫画（班活動用、板書用） 	分類ワークのため、4 種の4コマ漫画を用意します。班活動用のものは、ウェブサイトに掲載のファイルを A4 用紙に印刷し、ラミネートした上で 4 つに切り分けて用意してください。板書用のものは、B4 用紙に印刷し、ラミネートした上で 4 つに切り分けてください。その後、裏に磁石を貼り付けてください。 【必要部数】各班に 1 セット／板書用に 1 セット ※陸前高田市福祉部子ども未来課発行『もしかしたら，ワタシ…被害者かも。― デート DV ～あなたの近くにある暴力～』（制作協力：公益財団法人 日本ユニセフ協会）

2-2．分類ワーク用短冊（班活動用、板書用）  	分類ワークのため、デート DV にあたる行動の書かれた短冊を用意します。班活動用・板書用のいずれも、A3 に印刷し、ラミネートした上で短冊に切り分けてください。 【必要個数】各班に 1 セット／板書用に 1 セット
2-3．分類ワーク用ワークシート 	分類ワークに用いる模造紙です。模造紙を用意し、十字に 4 等分したのち、それぞれの象限に暴力種の見出しを貼り付けてください。 【必要部数】各班に 1 枚
2-4．暴力種の見出し（板書用） **身体的暴力** **経済的暴力**	分類ワークの際の板書のために用意する見出しです。ウェブサイトに掲載のファイルを B4 に拡大印刷し、ラミネートした上で不要な部分を切り取ってください。その後、裏面に磁石を貼り付けてください。 【必要個数】板書用に 1 セット
2-5．罪状の見出し（板書用） **名誉毀損　脅迫　暴行** **強要　傷害　侮辱** **プライバシー権の侵害** **不法行為による損害賠償**	分類ワークで検討した暴力がいかなる罪状に問えるかを確認する際に用いる見出しです。A4 で印刷したのち、ラミネートした上で不要な部分を切りとってください。その後、裏面に磁石を貼ってください。 【必要個数】板書用に 1 セット

○展開 3 で使う教具

ファイル名	準備方法
3-1．漫画プリント 	デート DV のサイクルを理解するための事例として用いる漫画を印刷したものです。二人一組のペアワークで用います。B4 サイズで両面印刷してください。 【必要部数】各ペアに両面印刷で 1 枚 ※山口のり子著『愛する、愛される 増補版――デート DV をなくす・若者のためのレッスン』（漫画・海里真弓 梨の木舎、2017 年）
3-2．丸シール［緑、黄、赤］	デート DV のサイクルを分類するために用いるシールです。緑がハネム

	ーン期、黄色が緊張期、赤が爆発期と対応しています。二人一組のペアワークで用います。 【必要個数】各ペアにそれぞれの色が 15 個ずつ行き渡る程度
3-3. 信号機［青、黄、赤］（板書用） 	デート DV のサイクルを説明するために用いる板書用の教具です。青信号がハネムーン期、黄色信号が緊張期、赤信号が爆発期を示しています。 【必要個数】板書用に 1 セット
3-4. ピクトグラム（板書用） 	デート DV のサイクルを説明するために用いる板書用の教具です。ラブラブ期は青信号と、イライラ期は黄色信号と、バクハツ期は赤信号とセットで使用します。 【必要個数】板書用に 1 セット
3-5. 漫画コマ（板書用） 	各コマの言動を黒板上で分類するために用いる、漫画をコマごとに切り分けた教具です。生徒の意見を聞きながら、それぞれのコマがハネムーン期・緊張期・爆発期のいずれにあたるかを分類します。1 ページごとに A3 サイズで印刷・ラミネートしたのち、切り分け、裏面に磁石を貼りつけてください。 【必要個数】板書用に 1 セット

〇まとめて使う教具

ファイル名	準備方法
4. 短冊（ルール記入用） 	恋愛〇箇条を書き込むための短冊です。画用紙を短冊のサイズに切り分け、裏面に磁石を貼りつけてください。 【必要個数】各班に 1～2 枚

※本教材・教具の作成にあたっては、陸前高田市福祉部子ども未来課発行『もしかしたら，ワタシ…被害者かも。― デート DV～あなたの近くにある暴力～』（制作協力：公益財団法人 日本ユニセフ協会）、および山口のり子様の著書（『愛する、愛される 増補版 ― デート DV をなくす・若者のためのレッスン』漫画・海里真弓 梨の木舎、2017 年）より、著作物の利用の許諾をいただきました。ここに記して感謝申し上げます。

※本教材・教具は、京都大学大学院教育学研究科教育実践コラボレーション・センターE.FORUM が、SMBC 京大スタジオにおける共同事業「貧困・格差・虐待の連鎖を乗り越える教育アプローチの研究開発と普及」（通称: 「『生きる』教育」プロジェクト）の一環として作成いたしました。作成は、下記の者が担当いたしました。

清水一希、多田理紗子、田原聡美、奥村旅人、山本尚毅、西岡加名恵

※本教材・教具に関するお問い合わせは下記までお願いします。

京都大学大学院教育学研究科 教育実践コラボレーション・センター E.FORUM

「『生きる』教育」プロジェクト事務局

E-mail e-forum.ikiru@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp